



No.87

市政の窓

「注目の月」

北朝鮮の「核」を巡って、春先まで米朝間では一触即発の状況であり、全世界が固唾を飲んでおりまして、4月に板門店で南北首脳会談が開

催。その直後には米朝首脳会談も約束され今月12日にシンガポールで開催される予定など、世界が急展開で動き出しました。核放棄の方法や期間について過去に何度となく約束しては不履行になったという経緯があります。国家の存続に関わる重要な案件ですが、今回は初

然、新監督の下では選出される選手の顔ぶれや戦略も違ってくるものと思われませんが、短期間でのチーム作りに徹していただき、第1次リーグが6月下旬から開催されますが4チームのリーグ戦を勝ち抜き、7月に行われる決勝リーグに駒を進める事ができるよう、新監督・新チームに期待いたします。

このように今月は世界中で注目すべきイベントが開催されます。暑さも増してくる季節ですが会談への熱視線とサッカー日本代表チームへの熱い声援を送るうではありませ

飯高を歩く

日慶の碑

匠瑤探訪 145

江戸時代、飯高村(飯高地区)には檀林が存在したため寺がいくつもあり、中には檀林の創設と関わるものもあります。公崎の法界寺もその一つで、1360年代に日演が開き、江戸時代の初めに日慶が中興開基したと言ひ伝えにありまして。境内にある梵字が刻まれた2基の板碑のうち1基には1324年の年号が見られます。これらは妙福寺周辺が日蓮宗となる以前、真言宗か天台宗の宗教施設の存在を伝えるものです。1340年

代になると、安久山(飯高地区)・円静寺を中心とした地域に日蓮宗が広がり、1579(天正7)年に飯高檀林が開設されました。法界寺は境内に墓地があり、奥まったところに「南無妙法蓮華経」の題目が刻まれた高さ110cm、幅80cmほどの砂岩の平石があります。碑の表面に細かな文字が彫られています。摩耗し読みにくくなっています。40年ほど前に調べた記録によると、1619(元和5)年仲秋に

この碑が建てられました。ここに庵を結んだ日慶は、1609(慶長14)年に「法華経一万部読誦」の願いを立てました。『続 日蓮宗の人びと』によると、「法華経を相当早く読む人で一日に二部、一万部といえは五千日：」とあります。日慶が1万部の読誦を終えたので、近隣の僧と信者でこの碑を建てたのが由来といえます。

法界寺の本堂左奥にかつて毘沙門堂がありました。まつられた毘沙門天は、日慶が読経をしているときに夢に現れ、その翌朝、村の加瀬新六という古老も同じ夢を見たので訪ねてきて、庵の北側を掘ると、木像が出て来たのでまつったとの言い伝えがあります。

これは1720年ごろ飯高檀林の化主(檀林長)の日潮がまとめた縁起書によるものです。(市文化財審議会委員・依知川雅一)

問秘書課広報広聴班

☎73・0080



法界寺境内の石碑

文芸コーナー

短歌

小泉泰清 推薦

麗かな風に揺れいるネモフィラは

岡を染め上げ波の如見ゆ

春間近か明るい短歌を作らんと

葉ボタン、スマレに心寄せ行く

戸を引かば初夏の朝日はまぶしかり

卯の花の香が部屋に入り来る

葉桜をわたる朝風うけながら

騎り手は両手に愛馬を撫てる

青葉風ぬけゆく寺の大藤は

春を惜しむか花房散らす

敵かに神輿の前に玉串を

捧げるわれに桜花舞う

桐の花散歩の道に仰ぎ見て

高貴な香りに想い出しけり

川口城司 推薦

ビニールの覆ひを解けば蝶形に

咲きてひそけし蚕豆の花

雀らが来るか否かは分らぬが

食パンの耳砕きて置きぬ

明けぬ夜はなしと耐え来つ若き日は

取り返せねどふり返らずに

バス停の若い男女の離れ立つ

三メートルの間にある何か

伊藤 英子

鈴木 和子

椎名 昭雄

宇野とし子

大木 洋一

高橋百合子

古谷由美子

渡辺 重雄

石田 秀子

小川みさ子

石田 治

俳句

八木佐久司 推薦

乗り換えて通ふ学校更衣

山一段わっとふくらむ椎若葉

八十八夜亡き人に茶を淹れて

たんぼの絮飛ぶ布陣とこのひぬ

魚の背の漣分けてゆく春よ

柿若葉庭にバスケの台ありぬ

伽羅路の匂いあふれて小さき家

沈み込む闇の彼方の青葉木菟

芝に座す人人人や花の下

麦の秋晩学遅々と単語帖

坂道を登りつめれば含羞草

バラ園の香りに染まる人の波

深呼吸青田の道を散歩する

初夏の陽を浴びて新緑美しい

初夏の風田んぼの苗をゆらしゆく

機械化で見る見る稲田姿変え

スマホにも律義な母はお辞儀する

子供たち幸せならば大人らも

飯高寺シニアのガイド名調子

飯高寺シニアのガイド名調子

飯高寺シニアのガイド名調子

飯高寺シニアのガイド名調子

飯高寺シニアのガイド名調子

飯高寺シニアのガイド名調子

飯高寺シニアのガイド名調子

飯高寺シニアのガイド名調子

大川 宣子

岩井 やす

高安せい子

椿 和枝

椎名 晴江

安藤 建子

江波戸廣子

那須 恒雄

伊藤 定子

櫻井富美雄

須貝 玉枝

江波戸京子

佐久間美智子

常世田やす子

林 サダ子

鈴木ツネ子

松野 敏昭

八角 宗林

石田 津

石田 津

石田 津

石田 津

石田 津

石田 津

石田 津

石田 津

川柳

勝又康之 推薦

川口城司 推薦

図書館だより

図書館ホームページはコチラ
https://www.library.sosa.chiba.jp



●休館日…7日(木)、毎週月曜日

●開館日…八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

大人も絵本

絵本は、子どもの読み物だと思っ
ていませんか。改めて読んでみると、
大人になったからこそ分かる深み
があります。また、子どもが読むこ
とを想定して書かれているので、絵や
文章も分かりやすく、メッセージが
真すぐに伝わります。自分が子ども
の頃読んだ絵本を、子どもと一緒に
読むのも楽しいですよ。

『くりとぐら』(作・中川季枝子、絵・
大村百合子。福音館書店・初版1963
年)はよく知られていますが、シリー
ズの他の作品はご存知ですか。『ぐ
りとぐらのえんそく』『ぐりとぐら

のかいすいよく』などがあります。

6月のおはなし会

図書館では、ボランティアに
よる読みかせを定期的に開催
しています。お子さんだけで心
配な時は、保護者も一緒に参加でき
ます。



★八日市場図書館

毎週土曜日 14時から約30分間

★のさか図書館

第4土曜日 10時30分から約30分間

おすすめの本

『シャクルトンの大漂流』

ウィリアム・グリル(作)・

千葉茂樹(訳)/岩波書店

第23回日本絵本賞翻訳絵本賞作品。
2015年ケイト・グリーンウェイ賞受
賞作品。南極大陸横断を目指した、
シャクルトンと隊員たち。救命ボ
ートで嵐の海を渡り、極地の山岳地帯
を越え——。17か月におよぶ実話に
基づいた大冒険のお話です。

『ドームがたり』

アーサー・ピナード(作)・

スズキ・コージ(画)/玉川大学出版部

原爆ドームが語りかけます。“ド
ーム”の言葉に耳を傾けてください。